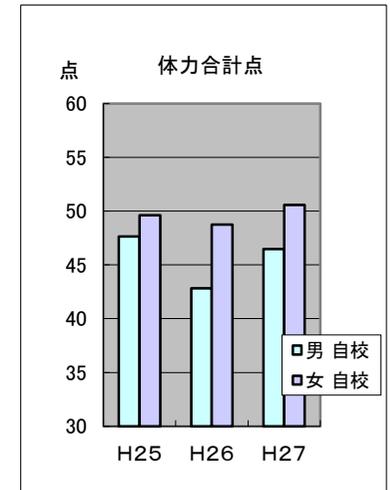
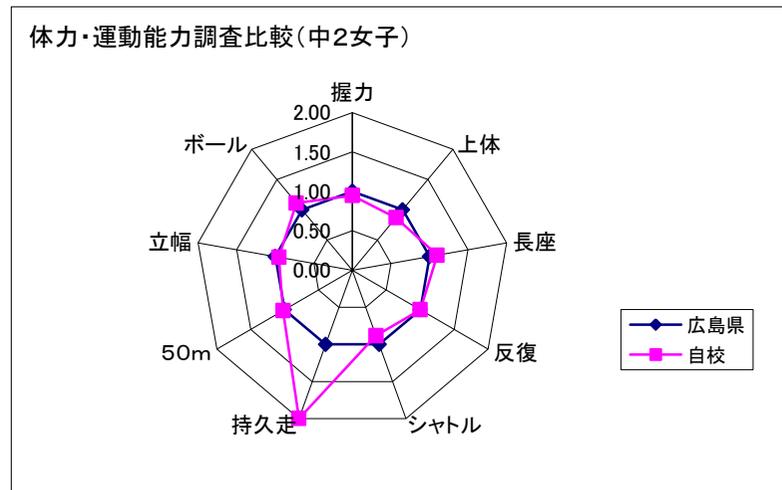
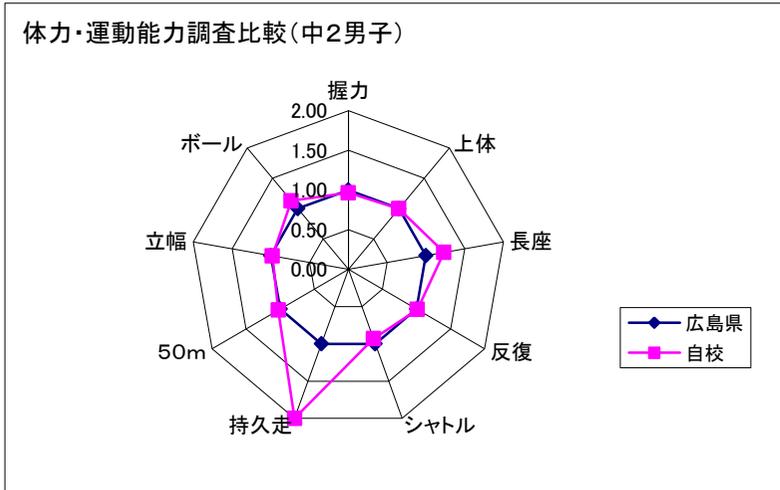


男子の体力合計点 学校 46.49 点 県平均 43.95 点

女子の体力合計点 学校 50.58 点 県平均 51.15 点



H27体力・運動能力調査の結果と分析

課題解決のための今後の取組及び数値目標

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)
 中2男子 県平均7.91に対して、本校は7.70。中2女子 県平均8.80に対して、本校は8.59となっている。また、中1男子・女子、中3男子・女子すべての学年において県平均よりも高い。昨年度の取り組みである保健体育の授業、各部活動での基礎体力を高めるトレーニング等を継続していく。

②(中学校区の課題種目)立ち幅跳び
 中2男子 県平均197.38に対して、本校は192.09。中2女子県平均169.59に対して、本校は161.47となっている。また、中1、中3は、男女ともに県平均よりも低い。小学校でも、県平均を下回る学年が多くある。小中が連携して、筋パワーを高める必要がある。

③20mシャトルラン(自校の課題種目)
 中2男子 県平均85.08に対して、本校は79.04。中2女子 県平均58.17に対して、本校は51.13となっている。中1男子(県平均71.35 本校72.05)以外、中1女子・中3も同様に県平均を下回っている。本校の課題として継続的に、全身持久力を高める取組を行う必要がある。

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・体づくり運動の單元において、保健体育の授業においてラダートレーニングや補強運動を取り入れ、瞬発力や敏捷性を高める。50m走に必要なスピードの向上を図る。 ・陸上競技の單元において、短距離走を取り上げ、スタート方法や中間疾走、フィニッシュについて理論的な指導方法を工夫して効率的な走姿勢を習得させる。
②中学校区の課題種目 (立ち幅跳び)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・体全体を使った立ち幅跳びの跳び方指導を体育の授業で行う。 ・中学校体育教員が、トレーニング方法について小学校へ乗り入れ授業を行う。(陸上記録会に向けて) ・各部活動においても、筋パワーを高めるような取組を促していく。
③自校の課題種目 (20mシャトルラン)	具体的な取組内容 ・陸上競技の單元において長距離走を取り上げ、走法の習得等を図る。体育科授業でサーキットトレーニングや校内マラソン大会を行い、全身持久力の向上に取り組む。 ・小中共に長期休業中の課題としてなわとびを使ったトレーニング等、持久的なトレーニング課題に取り組む。 ・各部活動においても、全身持久力を高めるような取組を促していく。

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)